

DNP

株主通信

DNP Report vol.77

(証券コード：7912)

特集：生活者視点とビッグデータを活かしたDNPの事業展開





株主の皆様には、ますますご清栄のことと心よりお慶び申し上げます。また日頃は格別のご支援を賜り、誠にありがとうございます。

私たちはいま、社会が大きく変化する時代のなかにあります。変化のスピードは速く、規模もグローバルに広がっており、そこにどのような課題があり、生活者がどのようなものを求めているのか、分かりにくくなってきていると感じています。

そこで私たちDNPは、一人ひとりが「生活者の視点」を持ち、社会の変化に、敏感に主体的に対応していくことが重要であると考え、そのための具体的な取り組みをスタートさせています。

✦ 新たなネットワークビジネスの基盤

いま企業が付加価値の高い製品、サービスを提供していくためには、生活者の声を反映させることが不可欠になっています。生活者の購買意識をはじめとした多様な情報を収集し、ニーズを分析してマーケティング活動などに応用することの重要性が高まっており、これに対応すべくDNPは昨年12月に「DNP 柏データセンター」を開設しました。

このデータセンターは、資本提携している日本ユニシス株式会社のクラウド技術を導入した最新鋭の拠点であり、高いセキュリティと耐震性、防火性を備えた情報通信ビジネスの基盤となる重要拠点です。両社の既存

のデータセンターと連携させることで、国内最大規模のサービス網を構築することができました。企業の要望に応えるサービスをクラウド環境で提供するとともに、DNPが進める電子書店や電子チラシ、フォトブックなどの生活者向けサービスの事業基盤として活用していきます。

DNPはこの情報インフラを最大限に活かして、生活者の価値観の多様化、ITの進展やグローバル化などに対応した新サービス、新事業の開発に努めていきます。

生活者とのコミュニケーションを強化

生活者の視点に立ち、それを事業活動に活かしていくには、私たち自身が生活者であることを自覚するとともに、多くの生活者と直に接していくことが重要です。昨年1月に東京にオープンした「コミュニケーションプラザ ドットDNP」と、昨年4月にグランフロント大阪内のナレッジキャピタルに出店した「CAFE Lab. (カフェラボ)」は、DNPと生活者とのコミュニケーションスポットです。両拠点とも、設置してあるタブレット端末で電子書籍を無料で楽しめるほか、イベントやワークショップなどを数多く開催しています。

「ドットDNP」はオープンから2年目に入り、来場者は5万人を超えました。何度も足を運んでくださるファンの方も増え、電子書籍やフォトプリント、デジタルえほんなどへのご意見もお寄せいただいています。

「CAFE Lab.」が入っているナレッジキャピタルは、多くの企業や教育機関などが分野を超えた共同研究に取り組む複合施設です。DNPはナレッジキャピタルにおいて、異業種のコラボレーションによる新しい製品やサービスの創出に注力しています。

私たちは生活者の視点に立ち、生活者と直接向き合うことによって、今まで気づけなかった新しい価値を共有するとともに、強固な情報セキュリティを確保したデータセンターを運用し、生活者とのコミュニケーションを深めながらビジネスの拡大を図っていきます。

今後も、事業活動を通じて企業価値を高めてまいりますので、株主の皆様におかれましては、一層のご指導とお力添えを賜りますよう、お願い申し上げます。

代表取締役社長

北島義俊

特集:生活者視点とビッグデータを活かしたDNPの事業展開

DNPはいま、国内外のさまざまな課題を発見し、解決していくために、“生活者の視点”が不可欠であると考えています。この特集では、【1】まず、生活者視点に基づいて、お買いものをより便利で楽しいものにするDNPのサービスをご紹介します。【2】次に、生活者の視点を正しく捉えるために、DNPと生活者の接点として展開する施設をご案内し、【3】そして、生活者情報を安全・安心に運用するために新設した「DNP柏データセンター」の事業戦略をお伝えします。生活者視点とビッグデータを活かしたDNPの取り組みの数々に触れてみてください。



【1】生活者の“お買いもの”をDNPがトータルにサポート

スマートフォンやタブレット端末の普及などによって、私たち生活者が情報に接するスタイルはますます多様化しています。日々の生活に欠かせない“お買いもの”についても、家にいる時には数多くの商品情報に触れ、町に出ではたくさんの刺激を受け、お店の中では購買の意思決定を行っています。そんな暮らしのさまざまなシーンで、生活者のお買いものを応援する多様なサービスをDNPは提供しています。

“イエナカ”から お買いものは始まっている

家の中の生活シーンで、お買いものを快適に楽しくするDNPのソリューションが役立っています。ポイントやキャンペーンなどで生活者の「欲しい」を呼び起こし、「買おう」を生み出すアプローチを行っています。

“マチナカ”でも手軽に情報収集

いつでもどこでも、生活者がネットワークで繋がるのが当たりまえな時代となりつつあります。場所・タイミング・気持ちにマッチしたコンテンツを、生活者の情報接触スタイルに合わせてお届けしています。

“ミセナカ”は便利と驚きの連続

お買いものの最前線である店頭は、生活者の「欲しい」にリーチする絶好のチャンスです。買いたい気持ちを後押しし、便利な購買を実現するための多彩なソリューションを用意しています。

❖ 家計管理アプリ「レシーピ！」

スマートフォンでレシートを撮影するだけで簡単に家計簿を作成できる無料のアプリです。日々の支出を管理できるほか、NHK「きょうの料理」の講師陣による8千点以上のレシピから、レシートの食材情報に合わせたレシピを提案します。また、読み取った購買情報に応じて、食品・飲料メーカーや流通小売企業のお得な情報やクーポンなども配信しています。使いやすく親しみやすいデザインが好評を得ており、2013年7月の配信開始以来、累計で30万件のダウンロードがありました。

レシーピ!

(<http://receipi.jp/>)



レシートを撮影すると…



家計簿が完成!

❖ ポイント会員サービス「エルネ」

「エルネ」は会員のさまざまなアクションによってポイントを提供する無料のサービスです。広告バナーをクリックして企業のウェブサイトへアクセスしたり、商品の購入やアンケートへの回答、資料請求やコメントの投稿などを行うことでポイントを獲得できます。獲得したポイントは、商品券や他社のポイントなどに交換できます。「エルネ」のサイトで会員同士が意見を交換して、コミュニケーションを深めることで、生活者の満足感を高めていきます。

ポイントで贈れる、いいこと连连。

エルネ.

(<http://elne.jp/>)



❖ 電子チラシサービス「オリコミーオ！」

インターネットで日本各地のチラシを閲覧できるサービスです。スマートフォンやパソコンを使って店舗の名前や住所、カテゴリーからチラシ情報を検索でき、毎日のお得な情報をチェックできます。お気に入りの店舗の情報がメールで届く機能、チラシ掲載商品から買い物メモを作成できる機能、自宅の食材と特売商品の情報から献立を提案する機能なども提供しています。生活者と店舗や企業とのコミュニケーションの機会を広げ、生活者の利便性と店舗の集客力を向上させていきます。

おトクが広がる! ネットのチラシは

オリコミーオ!

(<http://orikomio.jp/>)



【2】生活者とのコミュニケーションスポットを東京と大阪で展開中

2013年にDNPは、生活者の皆様と直に触れ合えるコミュニケーションスポットを東京と大阪に開設しました。DNPの製品やサービスを体験していただき、多くの方々にDNPを身近に感じていただける空間です。2つの拠点を連携させた企画なども推進し、生活者とのコミュニケーションを深めていきます。

●『コミュニケーションプラザ ドットDNP』 (東京・市谷)

2014年1月にオープン周年を迎えた「ドットDNP」は、DNPの多彩な製品やサービスを生活者に楽しんでもらう体験型ショールームです。テーブルに置いたタブレット端末で小説やコミック、雑誌などの電子書籍が試し読みできる「hontoカフェ」、特設スタジオでの写真撮影や写真プリントなどが体験できる「Enjoy! フォトパーク」、国内外のデジタルえほんを親子で楽しめる「デジタルえほんミュージアム」があり、各種イベントも開催しています。

所在地:東京都新宿区市谷田町1-14-1 DNP市谷田町ビル

開館時間:10:00-18:00

休館日:日曜日、年末年始(当施設運営上の都合により休館する場合や、特定コーナーの運営を中止する場合があります)のでご了承ください。

入館料:無料(有料のイベントやワークショップ等もあります。)

ウェブサイト:<http://www.dnp.co.jp/dotdnp/>



●『CAFE Lab. (カフェラボ)』 (大阪・梅田)

企業や大学、研究機関などが分野を超えたコラボレーションを進める複合施設「ナレッジキャピタル」内に、2013年4月、「CAFE Lab.」がオープンしました。これは、DNPが株式会社プロントコーポレーション等と共同出店したコミュニケーションカフェで、本棚にはスタッフが厳選した書籍が、テーブルには電子書籍を自由に閲覧できるタブレット端末があります。対話と体験を通じて楽しく学べる参加型ワークショップなども実施しており、生活者の知的好奇心を掻き立てる場所となっています。

所在地:大阪府大阪市北区大深町3-1

グランフロント大阪 北館1階

営業時間:8:00-23:00

休館日:元日、その他ナレッジキャピタルの休館日に準じます。

ウェブサイト:<http://kc-i.jp/facilities/thelab/cafelab/>



【3】生活者情報などを安全・安心に運用する最新のデータセンターが稼働

【1】(4頁)で紹介した電子チラシサービス「オリコミーオ!」をはじめ、DNPが展開する電子書店やフォトブックなどの生活者向けサービス、および企業の顧客向けサービスなどを安全・安心に運用するための事業基盤として、「DNP柏データセンター」を新設しました。2013年12月に稼働を開始したこの拠点は、日本ユニシスのエンタープライズ・クラウド技術を導入した最新鋭の拠点であり、高いセキュリティと耐震性、防火性を備えています。

この拠点を活かして、生活者の情報サービスの利用動向や購買履歴など、ビッグデータと呼ばれる膨大な情報を適切に管理していくことで、これからの情報通信サービス事業の価値を高めていきます。

「DNP柏データセンター」の事業戦略について、千葉亮太(C&I事業部長、写真:右)と高田和彦(SI事業開発推進本部長、写真:左)をご紹介します。



Q:データセンター新設の狙いは?

【千葉】 いまやインターネットは重要な社会インフラとなり、携帯端末の普及もあって、生活者は24時間どこにいても多様な情報サービスを利用できるようになりました。ウェブサイトを使った電子商取引やキャンペーンなども増加し、生活者情報をはじめとした重要情報を扱う上で、高度な情報セキュリティを備えたデータセンターがますます重要になってきました。

DNPはこれまでデータセンターを運用してきましたが、ニーズの高まりと中長期的な事業拡大の可能性を受けて、今回最新鋭の情報通信事業の基盤を構築しました。



C&I事業部 事業部長
千葉 亮太

Q: どのようなビジネスを展開していきますか？

【高田】 紙の書籍と電子書籍が購入できるハイブリッド型総合書店「honto」や電子チラシサービスの「オリコミーオ!」、フォトブックサービスの「DreamPages」など、DNP自身が生活者向けのBtoC事業を展開していま

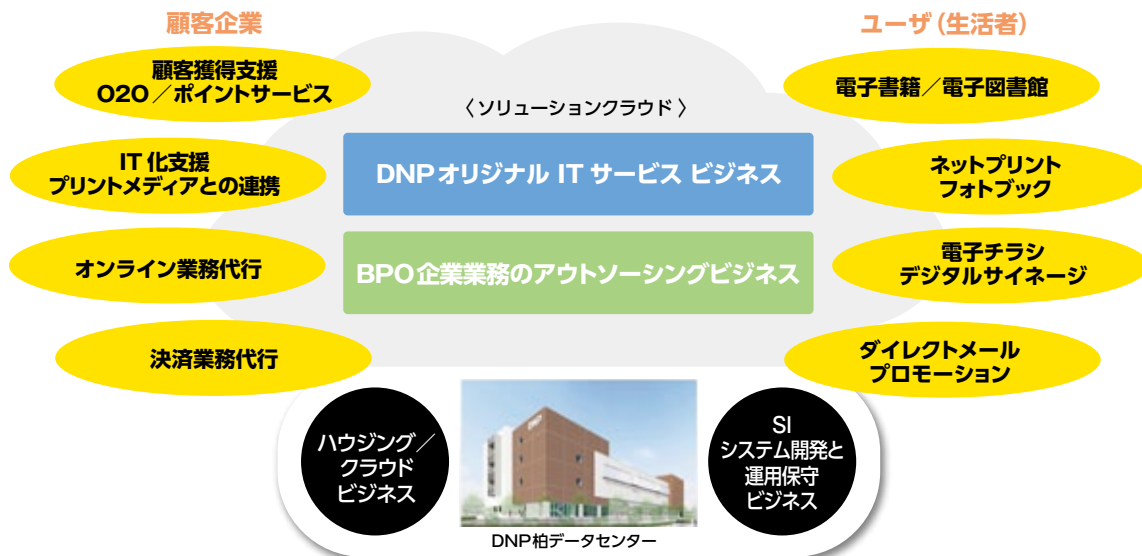
す。その際、生活者情報をこれまで以上に適切に管理・運用していく必要があるため、これらの事業の拡大に向けて新しいデータセンターを活用していきます。

【千葉】 また、ウェブサイトを中心としたシステム・インテグレーションや、企業の業務プロセスをDNPが代行するBPO*事業のための情報インフラとしても活用していきます。

【高田】 BPO*事業の拡大には大きな期待を寄せています。例えば、金融機関の新規顧客の申し込み受付業務では、ネットワークを介してDNPが受付登録や書類審査などを行い、その結果を企業にフィードバックしています。データ化しやすい申込用紙の設計や製造、電子帳票の開発、顧客動向の分析やマーケティングなどの周辺業務も合わせて受託することでビジネスを広げることが可能です。

*BPO: ビジネスプロセスアウトソーシング

●DNPのデータセンターを利用した各種ビジネス



Q: 事業拡大を実現するためのポイントは？

【高田】 私たちは、さまざまな課題を発見して解決していくには「生活者の視点」が欠かせないと考えています。多くの企業も生活者とのコミュニケーションを深めたいと考えており、そのためには個人情報などの重要情報を安全・安心に運用していく必要があります。事業拡大のポイントは、私たち自身が生活者視点に立ち、生活者の気持ちを捉え、企業や社会の課題解決の精度を高めていくことです。そのためのデータセンターであり、新しいビジネスの創造につなげていけると確信しています。

【千葉】 事業拡大のためのもうひとつのポイントは「グローバルな視点」でしょう。新しいデータセンターは、グローバルな情報サービスの展開へ向けた事業基盤とし



SI事業開発推進本部
本部長
高田 和彦

ても活用していく計画です。電子商取引やコンテンツビジネスを国内外で展開したいというニーズに対応するほか、食品や日用品、産業用部材やエレクトロニクス製品などをワールドワイドに提供する企業の情報管理などにも有効なインフラにしていきたいと考えています。

● 電子図書館サービスで、図書館と生活者の利便性向上

DNPIは日本ユニシス、図書館流通センター（TRC）、丸善と共同で、データセンターを活用したクラウド型の電子図書館サービスを今年4月に開始します。

このサービスは、公共図書館や大学図書館に対して、電子図書館の構築・運営に必要なシステムや利用可能な電子書籍などを提供するものです。高いセキュリティと柔軟な拡張性を確保したデータセンターを利用し、蓄積された貸出履歴データに基づいて、一人ひとりの嗜好に合わせた電子書籍を選定し、お奨め情報を提供することなどができます。

文芸、ビジネス、言語学習、専門書など、さまざまな分野の約1万タイトルの電子書籍が提供可能で、

引き続きラインアップを充実させていきます。電子書籍の販売も可能で、DNPがコンテンツの配信から販売管理までを一貫して行うため、図書館の負荷を軽減することができます。

DNPは電子図書館サービス全体の企画・設計を行い、日本ユニシスはシステムの設計・開発・クラウド環境の提供を担当します。電子書籍の調達はDNPグループのモバイルブック・ジューピーなどが行い、TRCが公共図書館向けに、丸善が大学図書館向けに当サービスを提供します。生活者や図書館からの要望を取り入れて機能を拡充しながら、5年間で300図書館への導入を目指します。

● 日本ユニシス、日本IBMと協力しマーケティング支援サービスを開始

近年、企業が生活者の購買行動等から得られる多くの情報(ビッグデータ)を活用して生活者ニーズを分析し、マーケティングや販売促進につなげていく取り組みが増えています。生活者の価値観やライフスタイルが多様化するなかで企業が業績を伸ばしていくには、購買行動だけでなく、その内面にある価値観や嗜好までを把握することがますます重要になってきています。

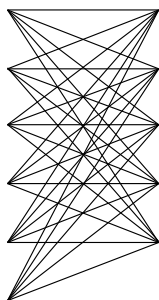
DNPは、一人ひとりの生活者が本質的に持っている「普遍的な消費価値観」と、商品を比較して購入を検討する際に重視する「購買比較時の意識」という視点で生活者の価値観を独自に分析した「価値観

クラスター」を構築しました。「普遍的な消費価値観」は、他者評価依存・ハイクラス志向・真面目実直などの6つに、「購買比較時の意識」は、自己決定型・□コミ重視・流行追随などの5つに分類しています。

今年1月、この「価値観クラスター」と、企業の会員や顧客情報などのビッグデータを組み合わせたマーケティング支援サービスを、日本ユニシスおよび日本IBMの協力のもとで開始しました。これは、日本ユニシスによるデータ解析やシステム構築、日本IBMによるビッグデータの高速解析ソフトウェアなどを連携させたサービスで、生活者情報の運用にはDNP柏データセンターを活用しています。

「普遍的な消費価値観」
の視点における
6つのクラスター

1. 他者評価依存
2. ハイクラス志向
3. 出世貧欲
4. 真面目実直
5. 人生謳歌
6. 充足感希薄



「購買比較時の意識」
の視点における
5つのクラスター

1. お墨付重視
2. 自己決定型
3. □コミ重視
4. 流行追随
5. 低価格志向

それぞれのクラスターを組み合わせると30(6×5)種類の価値観クラスターに分類します。生活者の価値観を判別し、30種類のなかから、どのクラスターに属しているかを把握することができます。



DNP柏データセンター

設計:NTTファシリティーズ

施工:五洋建設

撮影:ナカサアンドパートナーズ

株式会社DNPメディアクリエイト

商業印刷物の企画・制作・プリプレス会社としてスタートしたDNPメディアクリエイトは、コミュニケーションの手段が多様化するなか、企画・制作の強みを活かして、パンフレットやカタログなどの印刷物から、最新の情報メディアに対応したソリューションまで、幅広いクロスメディア事業を展開しています。

例えば、スマートフォンやタブレット端末を活用した情報サービス、電子カタログの制作・配信、電子商取引(EC)への対応など、企業と生活者の最適なコミュニケーションづくりを支援しています。

また、より多くの人にとって分かりやすいユニバーサルデザイン(UD)にも積極的に取り組んでいます。2013年5月にはNPO法人カラーユニバーサルデザイン機構が新たに制定した「カラーユニバーサルデザイン・マネジメントシステム認証(CUDMS認証)」の第一号認定事業者となりました。

同認証は同年11月、国際ユニヴァーサルデザイン協議会主催の「IAUDアワード2013」コミュニケーションデザイン部門銀賞を受賞しました。

Tap Style



店頭販売や営業シーンに対応した、タブレット端末用営業支援アプリケーション「Tap Style Cloud」



印刷用データから効率的に電子カタログを制作・配信できるシステム「ミカタ」

(写真は電子カタログの使用画面)



高画質な商品画像の撮影から、加工・配信までの業務を一括して受託するBPO*サービス「SHOOT MAX」

*BPO:ビジネスプロセスアウトソーシング

「カラーユニバーサルデザイン(CUD)」とは

色覚タイプの違いを問わず、より多くの人に利用しやすい印刷物や製品などを提供するという考え方です。



CUDMS認証マーク

この株主通信「DNP Report」もCUDMS認証に則って制作しています。

会社概要

名称：株式会社DNPメディアクリエイト
所在地：東京都新宿区市谷加賀町1-1-1
設立：1982年9月1日
資本金：1億円(DNP100%出資)

第3四半期決算のご報告 (平成25年4月1日から平成25年12月31日)

連結業績の概況

(単位:億円)

科目	当第3四半期	前第3四半期
売上高	10,750	10,882
営業利益	361	244
経常利益	406	287
四半期純利益	220	98

連結業績の予想 (平成26年3月期通期)

(単位:億円)

売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
15,300	480	490	230

1株当たり当期純利益35円72銭

DNPは「未来のあたりまえを作る。」をキャッチフレーズとして積極的な事業活動を展開し、顧客ニーズに対応した製品、サービスおよびソリューションの提供に努めてきました。また、品質、コスト、納期など、あらゆる面で強い体質を持った生産体制の確立を目指しました。さらに、全体最適の視点に立って国内外の事業体制の再編などの構造改革を進めるとともに、生活者やソーシャル、グローバルといった視点に立って積極的な事業展開に取り組みました。当第3四半期連結累計期間のDNPの連結売上高は1兆750億円(前年同期比1.2%減)、連結営業利益は361億円(前年同期比47.6%増)、連結経常利益は406億円(前年同期比41.3%増)、連結四半期純利益は220億円(前年同期比122.3%増)となりました。

部門別の状況

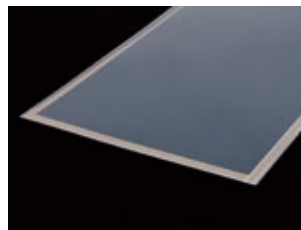
印刷事業



ICカード



住宅用建材製品



タッチパネルセンサー

清涼飲料事業



清涼飲料

情報コミュニケーション部門

売上高	5,186億円
前年同期比	1.4%減
営業利益	74億円
前年同期比	34.7%減

書籍やビジネスフォーム関連などは増加しましたが、雑誌やチラシ、パンフレット、カタログが減少しました。

生活・産業部門

売上高	3,938億円
前年同期比	0.3%減
営業利益	255億円
前年同期比	23.7%増

住空間マテリアル関連と産業資材関連が増加しましたが、包装関連はペットボトル用無菌充填システムの販売が減少しました。

エレクトロニクス部門

売上高	1,294億円
前年同期比	5.7%減
営業利益	93億円
前年同期は19億円の営業損失	

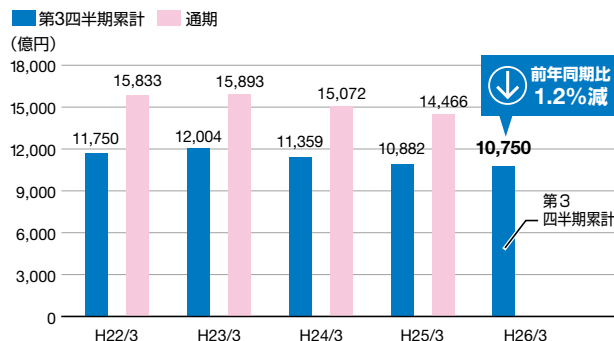
液晶カラーフィルターはスマートフォンやタブレット端末向けが堅調に推移し、電子デバイス関連はフォトマスクが増加しました。

清涼飲料部門

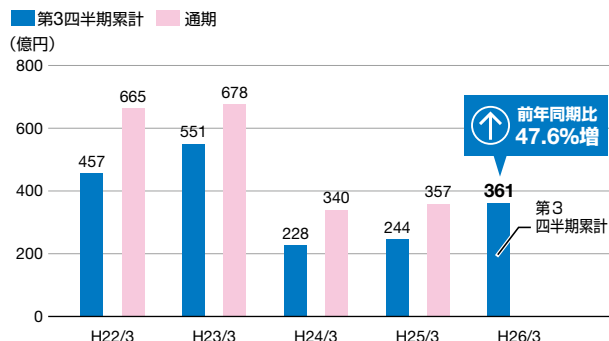
売上高	418億円
前年同期比	3.0%減
営業利益	8億円
前年同期比	23.4%増

軽量ペットボトルを使ったミネラルウォーター「い・る・は・す」は増加しましたが、コーヒー飲料が減少しました。

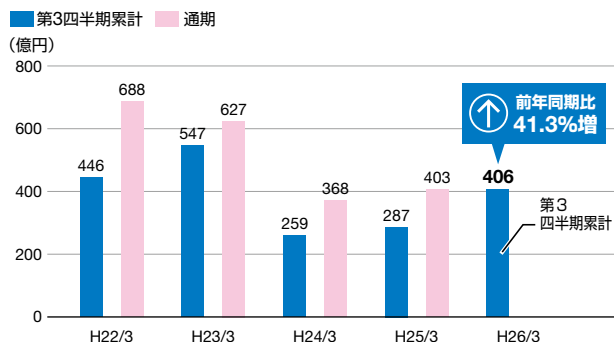
連結売上高



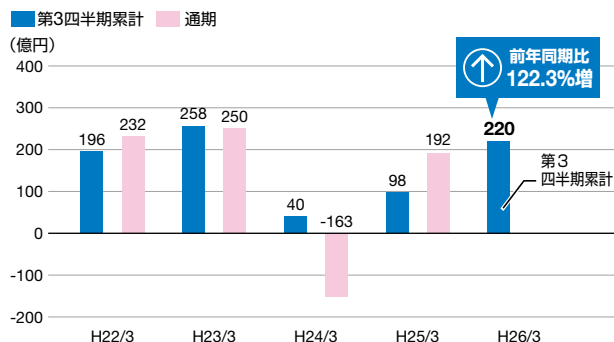
連結営業利益



連結経常利益



連結当期純利益



連結貸借対照表(要約) (単位:億円)

科目	当第3四半期 連結会計期間末	前連結会計年度末
資産	15,482	15,789
流動資産	7,038	7,511
固定資産	8,444	8,278
負債	5,774	6,419
流動負債	3,954	4,577
固定負債	1,819	1,841
純資産	9,708	9,370

配当予想(1株当たり配当金)

	中間	期末	年間
平成26年3月期	16円00銭 (実績)	16円00銭 (予想)	32円00銭 (予想)
平成25年3月期	16円00銭 (実績)	16円00銭 (実績)	32円00銭 (実績)

❖【2013年10月25日刊行】『一〇〇年目の書体づくりー「秀英体 平成の大改刻」の記録』
～100年以上愛され続ける「秀英体」の7年に及ぶリニューアルの全貌を公開～

DNPは、文字によるコミュニケーションに関わる編集者やデザイナーなど、多くの読者に向けて、オリジナル書体「秀英体」の改刻の過程を紹介した『一〇〇年目の書体づくりー「秀英体 平成の大改刻」の記録』を刊行しました。

秀英体は、DNPが明治時代に開発した書体で、印刷技術や市場の変化に対応しながら改良を重ねることで、誕生から100年以上経った現在でも日本語書体のスタンダードとして、広辞苑をはじめとした多くの出版物に使用されています。

テレビやパソコンはもちろん、スマートフォンなどのディスプレイで文字を読む機会も増え、新しい環境でも美しく読みやすい書体を供給していくために、DNPは、2005年に秀英体のリニューアルプロジェクト「平成の大改刻」に着手しました。その後7年をかけて10書体延べ12万字を整備・開発し、現在は電子書籍をはじめ、放送やインターネットでの文字表示などに利用の幅が広がっています。

同書はプロジェクトでの書体開発の過程を公開し、伝統ある秀英体をどのように改良したのか、分かりやすく紹介しています。また1876年(明治9年)のDNP創業以来の書体開発の歴史、秀英体ユーザーであるデザイナーのインタビューなども掲載し、秀英体をより深く知っていただける内容になっています。



第一章 秀英明朝(仮名の設計方針)より

『一〇〇年目の書体づくりー「秀英体 平成の大改刻」の記録』

【書籍版】定価：¥2,000+税 全国書店およびhontoサイトにて販売中

【電子書籍版】価格：¥500+税 hontoサイトにて販売中

【iOS版(iPhone、iPad向けアプリ)】価格：税込¥600 App Storeにて販売中

※iOS版の価格は、為替の変動により、変わる可能性があります。

※hontoサイト URL http://honto.jp/netstore/pd-book_25775734.html

※App Store URL <https://itunes.apple.com/jp/app/100th-anniversary-creation/id792595259>



会社概要

商号

大日本印刷株式会社

英文社名

Dai Nippon Printing Co., Ltd.

本社所在地および連絡先

東京都新宿区市谷加賀町一丁目1番1号
 電話 03 (3266) 2111 総合案内
 URL <http://www.dnp.co.jp/>

創業

明治9年(1876年)10月9日

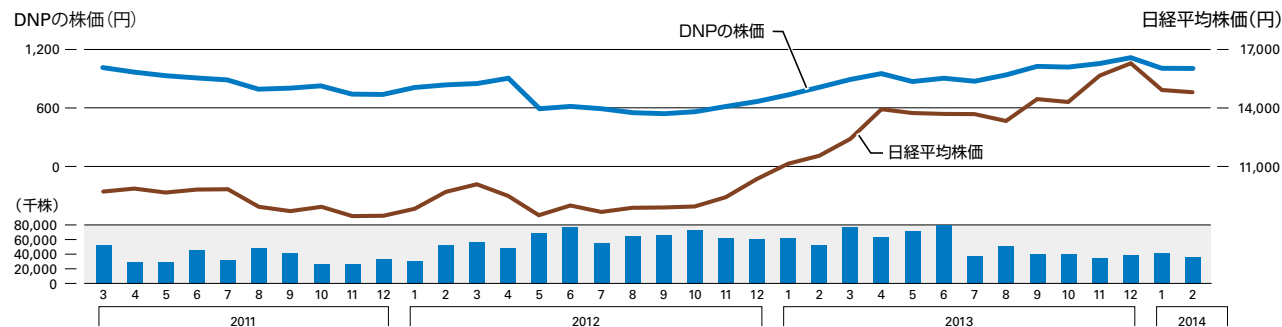
設立年月日

明治27年(1894年)1月19日

資本金

1,144億6,476万円

株価 / 出来高の推移



CONTENTS

株主の皆様へ	2
特集:生活者視点とビッグデータを活かしたDNPの事業展開	4
DNPグループ紹介③	11
第3四半期決算のご報告	12
ピックアップニュース	14
会社情報	15



表紙：DNPの家計管理アプリ「レシーピ！」

※当株主通信は、DNPの事業ビジョンや業績に関する情報の提供を目的としています。記載された意見および予測は、作成時点でのDNPの判断に基づいたもので、これらの情報の完全性を保証するものではありません。

※記載されている会社名、製品名は、それぞれの会社の登録商標または商標です。

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会開催時期	6月
上記総会における議決権の基準日	3月31日 その他必要のある場合は、取締役会の決議によりあらかじめ公告して設定します。
剰余金の配当基準日	期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所
公告方法	電子公告により行います。(当社のウェブサイト http://www.dnp.co.jp/ir/) ただし、事故その他やむを得ない理由によって電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

株式事務に関するご案内

1. 住所変更、配当金受取方法の変更等のお問い合わせ先、お手続き窓口

- 一般口座(証券会社の口座)にある株式
株主様が口座を開設されている証券会社の本支店
- 特別口座(みずほ信託銀行の口座)にある株式
(お問い合わせ先) みずほ信託銀行 証券代行部 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く 9:00~17:00)
(お手続き窓口) みずほ信託銀行 本店および全国各支店(トラストラウンジを除く)
みずほ証券 本店、全国各支店および営業所
プラネットブース(みずほ銀行内の店舗)

2. 未払配当金のお支払窓口(払渡し期間経過後の配当金領収証によるお受け取り)

- (お支払窓口) みずほ信託銀行 本店および全国各支店(トラストラウンジを除く)
みずほ銀行 本店および全国各支店
- (取次所) みずほ証券 本店、全国各支店および営業所
プラネットブース(みずほ銀行内の店舗)

※ 単元未満株式に関するお知らせ

1,000株に満たない株式(単元未満株式)を所有されている株主様が、当社に対しその単元未満株式と合わせて1単元(1,000株)になる数の株式を買増請求できる「単元未満株式の買増制度」を導入しております。また、単元未満株式の買取請求につきましても、お取り扱いしております。

- DNP Report に関するお問い合わせ先

大日本印刷株式会社 広報室 〒162-8001 東京都新宿区市谷加賀町一丁目1番1号
TEL : 03-3266-2111 (総合案内)



グリーン電力を導入しました
(年間115万kWh)。この報告書を印刷する際の電力(1,800kWh)は、自然エネルギーでまかなわれています。



CO₂の「見える化」
カーボンフットプリント
<http://www.cfp-japan.jp>
登録番号:CR-BS03-13015



この印刷物は、NPO法人カラーユニバーサルデザイン機構が認証したCUDマネジメントシステムに則り、色覚の個人差を問わず、より多くの方に見やすく配慮しています。